

雪洞

糸魚川勤労者山岳会

会長 青木 満 磨
TEL 025-552-9901



(2109)No.59 発行 2019年9月28日



山行記

★山域・山名=北ア・涸沢 2300m

★山行日=2019年9月14-16日(土-月)

★天 候=

★山行者=内山(報告 and 写真)、渡辺悦

北ア・涸沢満喫/贅沢三昧女二人旅♡

■9月14日(土) 晴れ 上高地⇒横尾山荘

▼薄明かりの午前2時半起床。4時マックパリュP
出発。晴れ。車を走らせること三時間。沢度P
に着き、シャトルバスに乗り継ぎ、上高地バス
-ミルに着く。7時45分に歩き出し、明神池ま
で一時間程☺。ここまで会メバ-の穂高岳組の
男性3人と別れ、小休憩をしてここから先は女
の二人旅が始まる。

▼気持ちを引き締め、男性達に心配かけないよ
うにしないと…。「☺☺♪頑張ろうネ」と言い
ながら歩く。前に歩いている人の後をリズム良
く歩く二人。大自然に囲まれ、ジブリの世界。
もののけ姫のインパクトが強い!!。梓川の清流、
水の綺麗なこと。感動しながら歩き、徳沢に9
時50分に着く。

▼徳沢ではカレーが美味し
いとか、ワトクリームが美味し
いとかで休憩。お昼には
早いので、少しブラリ散
策。ワトクリーム☺を手
に各々写真を撮る。そ
こで一句。
「えっちゃんや、そん
なに離れたら顔写らんぞ」
「顔はよし、景色が写
ればいいんだよ」見たいな

(√^-)♪☺・☺・。

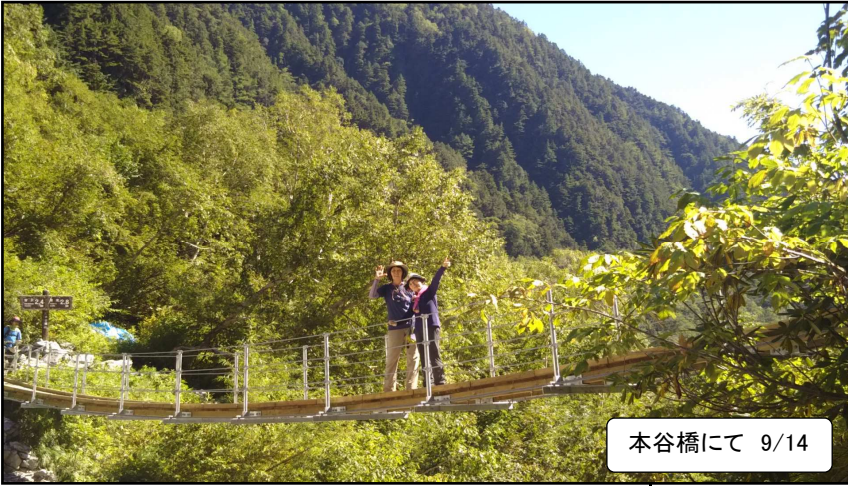
▼写真撮影でなんやかんや、ガチャガチャやっ
ていたのを笑って見ていた二十歳代の若者に
写真撮影を依頼。快く応じてもらった。凄く感
じの良い三人組だった。三人は槍ヶ岳に行くの
だと話していた。

▼私たちは、計画では涸沢ヒュッテまで行き、
翌日奥穂高岳まで行って涸沢に戻ってくる予
定だったのを変更。今日は“お風呂”に引かれ
て横尾山荘に泊まり、翌日涸沢ヒュッテを目標
すことにした。徳沢園を出てすぐのところ
に新村橋があり、ここから焼岳がきれいに見えた
\ (o^)/

▼横尾山荘で一泊と決めてから、ホントに気持



徳沢園上部の新村橋にて9/14



ちも楽に。軽いアップダウンがあったものの、割りと水平道のように。ザレ場あり木の根っこ有りの、歩きにくい所もあったが難なくクリア。間違やすい三箇所をチェックしてクリア。なんと横尾に着いたのは11時35分。お風呂にしようとしてコーヒーとパン🍞に。暑かったのでまたも

やワトクリーム🍦に手がでて、生ビール🍺、飲みみがしてしまう? 😊。午後2時に受付を済ましたあと、横尾大橋を渡って散策。
▼散策後部屋に通してもらい、ザックの整理を終わらせ🕒に。廊下も階段もピカピカ。お風呂も明るく、山小屋なんだけどシャワーもついていてビックリ！
一汗流して夕食。食事🍴最高。ご飯、味噌汁の美味しかったこと。二人ともご飯のお代わりしました〜😊。これから楽しみの夕焼け、星空がみられるかなと期待したが、無理だった。朝が早かったので午後八時には就寝《*≧▽≦》



【写真】①潤沢ヒュッテにて 潤沢の大パノラマとの奥上部に潤沢岳、潤沢槍、右に潤沢小屋が見えています 9/15 ②潤沢カールでわずかに紅葉が始まっていました 9/15 ③唐沢ヒュッテの吹き流し 下から見たときには励まされました 9/15 ④途中で会った若者たちと横尾大橋にて 9/15

【つづく】

雪洞

糸魚川勤労者山岳会

会長 青木 満 磨

TEL 025-552-9901



(2110)No.60 発行 2019年9月28日



山行記

★山域・山名＝北ア・涸沢 2300m

★山行日＝2019年9月14-16日(土-月)

★天 候＝

★山行者＝内山(報告)、渡辺悦

北ア・涸沢満喫/贅沢三味女二人旅♡②

■9月15日(日) 曇り 5時起床 横尾山荘⇒涸沢ヒュッテ

▼涸沢ヒュッテに午後四時までに入ればよいからと、のんびりと荷物の整理。午前8時30分出発。 「さあ～、涸沢まで頑張るぞ～」と意気込む。横尾大橋で最後の写真撮影をしていたら、徳沢でお世話になった若者と二度目の対面。これは縁だと話が弾む。記念写真を五人で写し、ラインを交換。

▼大橋を渡りそこでまたもや「これでいいんだよね～」が始まって計画書を見る。若者に「ここでいいよネ、涸沢行きは…」と聞く。 ㊦!!と言われて三人組と別れて歩き出す。目指すは涸沢ヒュッテ。時間があるからと足を止めて景色を見る。あまり休むと、最初の一步が怖いからと話ながら歩く。

▼一時間位経ったかな～下りの団体が「本谷橋に熊がいたよ～」と㊦。見たさ半分怖さ半分。「団体さん、そこに居てくださいヨ」と願う。大きな岩が目にとまり、通りすがりの人に問いかけ、屏風岩だと聞く。30分程で本谷橋に。広くてしっかりした吊橋で、すれ違いが出来るようになっている。河原にも木造の橋があった。河原で遊ぶ子供たちの姿も優雅で自然でいいな～と。(氾濫があったら一転して姿が変わるから怖い㊦)

▼木陰で少し多目に休む。方向音痴のSは、出発しようとき出したEさんに「こっちだよ」と声をかけたが、それが間違い。すかさず近くの男性に「どちらに行くの？」と聞かれ、「涸沢ヒュッテです」。やはり違って、えっちゃんの向かっていた方向だった㊦。ここからが本格的な登りが続くと聞いていたので、あっ来たか㊦! 休み過ぎたのか中々足が…ゆっくり一歩一歩足を前に出す。

▼まだかまだかと急坂を歩いて目に入ったのは、山のテッペンに小屋らしきものが。あの小屋は?と見ていたら、「北穂の小屋ですよ」と教えてもらう。北穂高岳に行くと言う男性二人組。追い越し、追い越せ。ここでも「ゴジウ岩の背中」と言う岩を教えともらう。「なかなか奥穂高岳見えないね～」と話しながら歩く。

▼涸沢ヒュッテに近づいているのか、道も緩い傾斜になって歩きやすくなる。本谷橋から一時間位過ぎたころ、視線を前に向けると鯉のぼりの吹き流しが目に入り「えっちゃん、あそこだよ、たぶんあそこ…」と。青空の下、元気に泳いでいた吹き流しに元気をもらい歩く。ヒュッテ近くになってきたら可愛いチングルマの穂先が風に揺れて咲いていた♡。「あと少し、あ

と少し…」と歩く事 30 分。涸沢ヒュッテのひろ～いテラスが見えた。11 時 50 分涸沢ヒュッテに到着

▼「着いたよ！」。ホントはビールで乾杯といきたかったが、まずは受付を済ませ、荷物を置いてからゆっくり昼食とする。やはり冷たくて美味しいワタクリームを食べる事に(^-^)。夕食までたっぷり時間があつたのでテラスでおしゃべりしながら飲んだり食べたりでお腹一杯になり、ビールは夕食時に回す。予約当日は「布団一枚に二名で休む」と言われ覚悟はしていたが、余裕でした。ラッキー

▼夕陽の時間は 17 時 20 分頃からということ、先に食事を済ませてテラスで待つ。さほど

寒さは感じない。偶然ご一緒の席に座られた素敵なお夫婦と会話が弾み、弾みついでにシロ、赤(ワタ)を頂いて気分良く楽しく過ごす事ができた。夕陽こそ芳しくなかったが、星が沢山姿を現す。ふと左斜め上の穂高岳山荘付近からランプがピカピカ。「えっちゃん、男性達かもよ」と、点滅ランプのお返し

▼午後 9 時。肌寒くなり、丁寧に夫婦と挨拶を交わして部屋に戻る(^-^)ノノ※。☆ここでも三重県、岡山県の女性二人組と知り合いになる。このお二人さんとはとてもバイタリティー。私たち二人とは天と地(^O^)。感心して話を聞き、彼女らは朝 4 時に出発ということなので布団に入る。

■9月16日(月) 小雨 4時起床 涸沢⇒上高地

▼朝焼けが見たかった私にはショックだったが、その後晴れてくれたので良かった～。食事を済ませ、準備万端で小屋の外に。涸沢小屋まで歩いてみよう。「男性達がどちらからおりてくるかな～」とか話ながら、パノラマコースを少しだけ歩いてみる。待つこと 1 時間、来た、来た、来たよ～(^-^)。三人は穂高岳山荘からザイテングラートを下って来たとのこと。

▼男性達をお出迎え。お疲れ様、お帰りなさい

と安堵。五人集まってコーヒーを飲み、コピリを食べてお腹を満たす。am9 時 40 分には私たちが来たコースをピストン。初めての悦子さんとの二人旅。楽しく、可笑しく、出会いあり。何とも慎重になりすぎたの珍道中。「今度は涸沢から頑張って奥穂高岳に登り、涸沢ヒュッテ一泊、帰りに横尾に一泊しようか」と。モルゲンロート見たくて提案

▼ホントに素敵で思い出深い二泊三日の贅沢三昧の旅&登山でした。一緒に行ってくださった三名の男性達、唯一頼りになりました悦子さん、ありがとう。感謝しています。又、往復の運転 & 山行リーダーにおかれましても感謝です。ありがとう。お疲れ様でした(^-^)。

▼無事にケガもなく車が新潟県に入った頃には雨。これも神様が「落ち着いてまで帰るのですよ」の雨だったのかも、なんて思った私でした。

《報告・写真 by 内山でした》

